

WEEKLY REPORT



ロータリー：
変化をもたらす

会長 山村 義美 幹事 庄司 薫 例会 毎週木曜日 12:30~13:30 旅館 エビスヤ
<http://takahata-rc.net> 事務局 山形県高島町大字高島911-2/2F tel 0238-52-5440・fax 0238-52-5444

今日の例会 [2433th] 2018. 4. 26

観桜会 味来屋

前回の例会 [2432th] 2018. 4. 19

ゲストスピーチ

高島町役場 商工観光課
課長 八巻 洋樹氏

- ・点鐘12時30分 山村 義美 会長
- ・ロータリーソング 手に手つないで
- ・ソングリーダー 四つのテスト
- ・S A A 木村 健彦 君
- ・若林 智次 君

会長あいさつ

山村 義美 会長

みなさんこんにちは、今日は気温も高く5月ぐらの陽気だそうです。

朝晩の寒暖の差が激しいのでお体をご自愛下さい。

4月14日寒河江さくらんぼRC30周年記念式典に庄司幹事と参加してまいりました。昭和63年~平成元年にかけスタートしたクラブだそうです。

4月15日は山形北RC50周年記念式典には長谷川平内先輩と高梨正章元ガバナー補佐それに土屋会員に参加して頂きました。大変お疲れ様でした。

高島も桜が見頃になりました、4月21日はまえの高島第四中学校で「咲食楽(さくら)フェスティバル」が行われます。全国のうまいもの、高島の特産品など沢山の店が出店するそうです。メンバーの後藤屋さん・たかはたファームさんも出店されるとのことで、みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

本日のゲストスピーカーをご紹介します。
高島町商工観光課 八巻洋樹課長でいらっしゃいます。さくらフェスティバルの主催者でもございます。

今日は先月高島で行われた自動運転のお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

《会長の時間》

全国ロータリークラブ甲子園野球大会に前夜祭からの参加。4/24~25日の一泊二日の日程で行ってまいります。

《幹事報告》

黒澤 嘉徳 副幹事

・緑の羽根募金のお願いが来ております。回覧してありますのでご協力お願い致します。

《委員会報告》

親睦活動委員会

高梨 恭行 委員長

- ・4/26日(木) 観桜会の出欠をお知らせ下さい。4/20日までお願い致します。

スマイルBOX

- ・山形北RC周年事業でジャンチブさんの講演と聞き、懐かしく聴講してまいりました。
鈴木 征治 君
- ・妹の娘(姪)が結婚しました。
金子 良弘 君

《出席報告》

会員数 48名 出席者数 25名 出席率 52.08 %
前回修正 出席者数 30名 出席率 62.50 %

《メークアップ》

杉森 文昭 君・皆川 賢治 君・加藤由香里 君
金子 良弘 君

前回の例会 [2434th] 2018. 5. 10

ゲストスピーチ

<ロータリー文庫 図書贈呈>

亀岡 小学校

教頭 小山田 聡 氏

ゲストスピーチ

高島町役場 商工観光課
課長 八巻 洋樹氏



「中山間地域における道の駅等を利用した自動運転サービス」の自動運転実証実験の地域選定について、平成29年7月31日に国土交通省によるプレスリリースが行われました。その中で、全国26地域の公募の中から8ヶ所の地域が選定され東北地方では唯一、本町を選定していただきました。

なぜ、本町が実験地に選ばれたかという点については、自動運転の拠点となる「道の駅たかはた」が、ご存じの様に、旧山形交通高島電鉄の沿線に立地しており、当時の町の産業振興と町民生活の足として大いに役立ってきたという時代背景と地理的な優位性があったからだと思われます。そして、今も「まほろばの緑道」として、線路跡地の面影を残していますが、実証実験を行ううえで専用道路として利用できることも選定された理由の一つではないかと考えています。

今回の実験は、高齢化が進行する地域における人流、物流等の確保のため、2020年までの社会実装を目指すもので、併せて自動運転によるビジネスモデル(高齢者等の交通手段の確保、観光振興及び物流利用)の検討も行うことになりました。県内の自治体を始め他県からも問い合わせや連絡を数多くいただき、自動運転に対する関心の高さを改めて感じたところです。

実証実験の具体的な日程等については、国土交通省、山形県、車両開発メーカーなどとの打ち合わせを幾度か重ね、実験時期としては初めての降雪期・積雪期である、

平成30年2月26日からの1週間を使用し、実施することになりました。実験車両については、7人乗りワゴン車を改造した4人乗り車両で、事前に作成した高精度の三次元地図に基づいて、周囲の障害物を感知する機器、数台のカメラとコンピューターが積まれています。

今年は、大変な大雪であったために、正常な運転ができるかなど懸念材料も多くありましたが、運行ルートの一部区間を一般公道に移し、レベル4(運転者なし)とレベル2(部分運転自動化)により行われました。実験の結果については、大きな障害もなく、数多くのデータが得られたと伺っています。また、町民を始め約100名の方々に、実際に運行ルートを試乗していただくなどのご協力をいただきました。

自動運転の実用化については、国内外の自動車メーカーが競い合っている昨今ですが、運行までには法整備など様々な課題が残っています。現に、米国では、自動運転による死亡事故も発生し、問題視されています。

しかし、自動運転化は、高齢化の進展や人口減少による運転手の確保難、高齢ドライバーの事故、買い物弱者対策などの多くの課題を一挙に解決してくれるのではないかと期待されているのも事実です。今回、高島町で行われた実験が、新たな時代を切り開く一助になればよいと思っています。